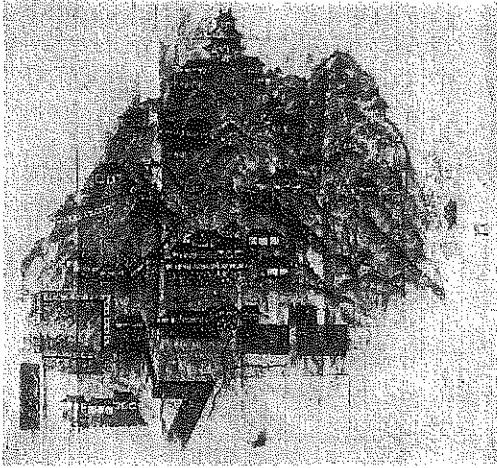




戦国大名の軍事的拠点

3年 組 番()

以下の記述は織田信長が前半期に拠点とした岐阜城に関するものである。



岐阜城構の図 (円徳寺所蔵)

稲葉山城(岐阜城)、岐阜の北にあり、城山高くして山上に千畳敷(城館)の跡あり。

(雑事記一)

問1 岐阜城はどんなところにあったか

一般的に標高 100m 以上の土地に建てられた城を^{やましろ}山城という。山城は、戦国時代に大小合わせて全国でおよそ 3～4 万以上も築かれたと研究されている。また、山城は江戸時代の軍学書には「所堅固の城」と説明されており、その地域の地形を巧みに盛り込んで防御を考えた城と言えよう。その他にも、山城であれば自然の地形を城作りに生かせるので、少ない期間、少ない人員で城を築くことができる。

問2 上記の説明を参考に山の上に城を築くことの利点は何か。

問3 上記の説明を参考に、戦国大名の軍事的拠点としては A～E の場所の中ではどこが適していると考えますか？(複数可)

選んだ場所

〈 選んだ理由 〉